

青年技術士交流委員会 公開講演会

「技術士・技術士補による知的書評合戦ビブリオバトル」

青年技術士交流委員会では、毎年、社会とのつながりを意識するとともに技術士の地名度向上を目的とした公開型講演会を行なっています。

今年は、令和2年11月21日(土)に「技術士・技術士補による知的書評合戦ビブリオバトル」を開催しました。本講演会は、今年で3年連続3回目となりました。例年は紀伊國屋書店札幌本店のイベントスペースにて対面形式の講演会を開催していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、初の試みであるオンラインでの開催となりました。

1. 公開講演会の概要

ビブリオバトルは、誰でも開催できる本の紹介によるコミュニケーションイベントです。①発表者がお勧めの本を持ち寄り、各自5分間で紹介します。②その本の紹介後は3分程度の質疑応答を行います。③全ての発表者が発表を終えてから、イベント参加者全員で「一番読みたくなったチャンプ本」を投票により決定します。

本講演会では、紹介する本のテーマを「ポジティブチェンジ」とし、技術士・技術士補・修習技術者達が逆境をポジティブに変えるきっかけとなるような本を持ち寄り、紹介しました。

第2部の決勝戦では、Zoom ウェビナー・YouTube ライブを用いてライブ配信を行うことで、一般聴講者へ公開しました。

●テーマ：「ポジティブチェンジ」

●日時：令和2年11月21日(土)13:00～16:00

●開催方法：Zoom ミーティング・ウェビナー、YouTube ライブ

●発表者参加人数：14名

●第1部：予選会 13:00～14:15

●第2部：決勝戦(公開講演)14:30～16:00

2. 予選会

第1部の予選会は、Zoom ミーティングを用いて、A～Cの3グループ(4～5名/グループ)で行いました。

各グループでは、各自厳選した本について熱く語り、質疑応答を行い、決勝進出者を選出しました。

3. 決勝戦

第2部の決勝戦は、オンラインで一般聴講者も視聴できる公開講演として行いました。予選会で勝ち残った5名が再び本の紹介を行い、その後5分間に渡り Zoom ウェビナーのチャット機能等を用い、質疑応答を行いました。

筆者は奇跡的に決勝に残り、緊張しながらもなんとか発表を終える事が出来ました。決勝進出者の他4名は、5分間という短い時間の中で聴講者に分かりやすく、素敵なプレゼンテーションを披露しました。発表者一人一人の人となりや、紹介した本の魅力が伝わり、発表が終わらぬうちに聴講者から本を注文したとのコメントが寄せられました。

決勝戦の最後には、発表者5名の中から一般聴講者の投票により、見事最多票・高評価を得た西村技術士が優勝を飾りました。



写真-1 優勝を飾った西村技術士



写真-2 素敵なプレゼンを披露した仁義技術士補



写真-3 中部本部から参加の中川技術士



写真-4 楽しい声援が寄せられた平岡技術士

以下に、決勝戦で発表された本をご紹介します。
いずれも素晴らしい本です。もし、ご興味がありましたら、手に取ってみてはいかがでしょうか。

・A グループ勝者

仁義技術士補(当委員会幹事)

～『Presents』

小説：角田 光代、絵：松尾 たいこ

神尾修習技術者(当委員会幹事)

～『アムンセンとスコット～南極点への到達に

賭ける』 著者：本多 勝一

・B グループ勝者

中川技術士(中部本部 青年技術士交流委員会幹事)

～『2020年6月30日にまたここで会おう』

著者：瀧本 哲史

西村技術士(当委員会副委員長)

～『人生の教養が身につく名言集』

著者：出口 治明

・C グループ勝者

平岡技術士(当委員会委員長)

～『よみがえる変態』

著者名：星野 源

4. 終わりに

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、当委員会でも予定していた幹事会やイベントが中止になりました。閉塞感が続く中、「この状況で出来ることは何か?」と、いつしか当委員会メンバーの気持ちが前向きな方向に変わって行きました。今回のビブリオバトル開催に向け、メンバー一人一人が出来ることを行い、お互いに協力しながら準備を進めました。その結果、オンラインでのビブリオバトルを成功させることが出来ました。まさに、今回のテーマ「ポジティブチェンジ」にふさわしく、技術士および技術士補の底力を発揮した成果であると思います。

また、オンラインならではの利点を生かし、道内・道外からバトラーとして参加頂き、たくさんの聴講者との交流から、当委員会の活動を伝える事が出来ました。

今後も多くの方々に参加・聴講して頂けるよう、楽しく有意義な企画を発信していけたらと思います。